

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2005・5



まちの人



札幌西区オーケストラ“団長ママさん”

はまだ けいこ
濱田 啓子さん(56)

○札幌西区オーケストラ

昭和61年(1986年)、濱田さんのお子さんを
含む10人の区内の音楽愛好家が集まって発
足。メンバーの演奏レベルや経験を全く問わ
ず、趣味の音楽を追求するオーケストラ。現
在は100人以上が所属し、年1回の定期演奏
会のほか、地域密着型の演奏会を行っている。

◎第19回定期演奏会

日時：6月25日(土)午後6時開場、6時30分開演

場所：Kitara大ホール(中央区中島公園1-15)

入場無料(要入場整理券。西区役所広聴係で配布中)

ホームページ <http://www7.plala.or.jp/nishioke/>



■西区民センターでのファミリーコンサートの様子

二人の息子の望みをかなえようと、札幌西高校オーケストラの指揮をしていた先生を指揮者に迎え、自宅を練習場として始まった札幌西区オーケストラ。父親であるご主人が団長になり、自身も十九年間「団長ママさん」として活躍してきたのが、山の手地区に住む濱田啓子さんです。濱田さんは五人の子どもを育てながら、医師として働いてきました。子どもたちは皆自立し「子育ても終盤を迎えた」そうです。現在は九十歳を超えるご主人の両親の介護をしつつ、さまざまな活動に参加しています。「基本的に

周囲の支えが私のパワー

んなで集まって何かするのが好き」で、オーケストラもその延長のようです。「子どもたちはとくにやめてしまったんです。私も主人も全然弾けないんです。本当にただ座っているだけで」。六月に控えたKitara大ホールでの定期演奏会を前に「申し訳なくてますます小さくなって座っている」と話します。オーケストラの魅力は、今はなかなか経験できない「お年寄りから無言の教え」を受けられること。八十歳代の二人の女性が毎回練習のためにいすを並べる姿から「教え」を受けていると濱田さん。また、ここ三年ほどは新篠津高等養護学校合唱部の演奏会に、バスを借り上げて遠征。村をあげての手作りのコンサートに、「心温まる」得がたい経験をしてきたといいます。子育て真っ最中のとき、向かいに住む奥さんに「妻として五十点、嫁として五十点、母として五十点、医者として五十点。合計すると二百点だから大丈夫」と言われ、妙に納得したという濱田さん。「不完全な自分を受け入れてくれる周囲がパワーの源」と、明るく話してくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。